

「紀州漆器まつり」を通じたブランド浸透とまちおこし

A
12

紀州漆器協同組合

住 所	〒642-0001 和歌山県海南市船尾222番地		
U R L	http://www.chuokai-wakayama.or.jp/sikki-k/		
設 立	昭和22年5月	主 な 業 種	漆器の生産、卸売等
組 合 員 数	111人	出 資 金	1,300千円

■背景・目的

「紀州漆器まつり」は、平成元年から毎年11月の第1土・日曜日に開催され、今年で31回目の開催を数えた。立ち上げ当時は、全国の「地域おこし」活動としての先駆的な存在であり、地域の伝統産業である漆器とその町並みを生かしたイベントとして、これからも観光とまちづくりを融合した賑わいを生み出していくことが期待される。

■取組みの手法と内容

「紀州漆器まつり」の主会場は、海南市黒江のメイン通りである川端通りを歩行者天国にして開催する。漆器メーカー・問屋を中心に、盆や椀類などを市価の約3～4割で販売する「大漆器市」には、約17店舗が出店。その他にも、各企業、団体による模擬店35店舗、ミニ四駆大会「紀州漆器CUP」、伝統工芸士の実演、蒔絵体験も開催され、大人から子どもまで楽しめるコンテンツを工夫して提供していることから、今年も2日間で約4万1千人が来場し、賑わいを見せた。

紀州漆器まつりは、同日に開催される「家庭用品まつり」（主催：海南特産家庭用品協同組合）と連携し、海南市、海南商工会議所の協力（共催）を得るなど、諸団体が一丸となった取組みになっており、伝統産業のお祭りに留まらず、地域の活性化や観光の振興にも大きく寄与している。

なお、同まつりの運営は実行委員会制をとっており、委員長は組合理事長が、実行委員は、漆器関係者、各企業、団体約35社程度が参画している。第1回実行委員会を8月末ごろに開催し、11月上旬の開催に向けて2～3ヵ月かけて準備を進めている。

■成果とその要因

年一度のイベントを通じて、次世代を担う若手組合員の育成や、紀州漆器のブランドと情報発信の旗艦店となる紀州漆器伝統産業会館「うるわし館」の認知向上および販売促進につなげている。紀州漆器は変化するライフスタイルのニーズにも対応し、魅力ある製品を提案するなど、漆器の未来への可能性を来場者に伝える場にもなっている。



漆器まつりの様子



蒔絵体験の様子

積極的な情報発信



Point

事業活動としてのみならず、地域コミュニティとして一体感ある運営により、伝統工芸「紀州漆器」のブランド浸透、まちづくり、観光振興に同時に取り組む活動となっている。